

説教余滴 2020年7月19日、コロナ感染症対策

2020年は、オリンピックイヤーとなるはずが、コロナウイルスイヤーとなりました。

1348年のペスト流行以降、ハンセン病患者数が流行以前の水準に達することはなかった。

その理由は現在も不明のままになっている。

「一日千人以上も罹患しました。看病してくれる人もなく、何ら手当を加えることもないので、皆はかなく死んで行きました。」デカメロン…十日物語、ジョバンニ・ボッカチオ。

ペスト流行により、最終的にヨーロッパ社会は人口の三分の一から四分の一を失います。

長崎大学山本太郎教授によれば、ペスト流行の影響は大別して三つ挙げられます。

「第一に、労働力の減少と賃金の上昇。農民は流動的になり、農奴に依存する荘園制は崩壊。

第二は、教会の権威の低下・失墜。第三は、人材の払底。新しい人材を登用する結果、封建的身分制度の解体。新しい価値観の創造へと向かう。」

欧州は、ルネッサンスと宗教改革そして新大陸への人口移動を経験することになります。

感染症の流行は、たいへん怖いものです。正しい知識に基づいた拡大予防策をとることが重要です。

田浦教会は、礼拝の時間短縮を決意しました。公共交通機関を使用せずに出席可能なら共に礼拝しましょう、と考えました。ご無理な方々のためには、音声と動画を同時配信する準備を進めました。もちろん、三密を避けることも考えました。消毒、マスク、手洗いに留意しました。換気は、特に気を使っています。季節的にも、窓は最初から開放です。天窗は、もうじき開けるようになりそうです。

こうして、求める人たちと共に礼拝をささげ、教会はこの感染症にも負けずに多くの人々のために祈っています、と宣明しています。

自ら考え判断し選択する力と他者への信頼こそ健全な社会を生み出す原動力です。